

友好ムードがいっぱい

韓国練習船が田子の浦港に

韓国商船学校の練習船バンド号(3300トン)が親善訪問のため6月7日朝田子の浦港に入港しました。バンド号には、尹英東船長をはじめ商船学校教官、学生など150人が乗り組んで航海練習をしながら、製紙原料のチツブ700トン余りを田子の浦港に運んできました。

田子の浦港では、さつそく歓迎式を行ないました。歓迎式で渡辺市長が歓迎のことばを述べたあと、全乗組員に夏ミカンのプレゼントをし友好ムードがいっぱいでした。



まずまずの量目でした

婦人会が食料品の量目を検査

商工課では6月7日の計量記念日行事の一環として、さきごろ「暮らしのなかの計量と買物」をテーマに、40人の婦人会員による食料品の試買と量目検査を行ないました。試買は市内全域からということで、婦人会員が会場に来る前に指定された商店で、1人500円ぐらいの見当で食肉や菓子、砂糖など140点を買ってきました。

この140点の量目検査をしたところ、95%に当たる133点は正量あるいは超過しており、まずまずの結果でした。なお、試買した商品は芙蓉会と誠信少年少女の家に贈られました。



統計で知る 富士市

自動車販売額が 大幅に伸びる

昭和45年6月1日現在の富士市内の商店数は3482。従業者は13,440人で年間販売額は945億7925万円でした。これを昭和43年と比較すると、商店数は94店、従業者は1114人、販売額は256億1675万円それぞれ多くなつ

ています。

④ 商店数のうちわけは飲食料品小売業が1148店で33%を占め、ついで飲食店の710店(20.4%)、その他の小売業545店(15.6%)となつています。従業者数は卸売業が2857人で21.3%を占め、小売業が10583人で78.7%を占めています。

販売額は別図のようになつています。このうち、小売業が449億8034万円で42.6%の伸びを示していますが、なかでも自動車産業が88.1%と著しい伸びをみせているのが目立っています。

昭和45年商業販売額

